

6月17日：大型株がまちまちの動きでVN指数は後退

ベトナム株はわずかに下落して水曜日の取引を終えた。セクター内でもまちまちの動きとなった。

ホーチミン取引所のVN指数は0.2%安の854.44ポイントで取引を終えた。

火曜日には2.84%高の856.13ポイントで取引を終えていた。

出来高は3億5500万株で売買代金にして4.3兆ドンであった。

220銘柄の下落に対して147銘柄が上昇した。

VN30指数は0.3%安の796.43ポイントで取引を終えた。

30銘柄の内の19銘柄が下落し10銘柄のみが上昇した。

大きく下落したのは、ビンググループ (VIC) (-1.6%)、ビナミルク (VNM) (-1.2%)、BIDV銀行 (BID) (-1%)、バオベトホールディングス (BVH) (-2.4%)、ベティンバンク (CTG) (-1.08%)、マッサングループ (MSN) (-0.2%)などであった。

一方、ペトロリメックス (PLX) は3.3%高、ビンコムリテール (VRE) とビンホームズ (VHM) はそれぞれ2.8%、1.5%高となった。

セクターごとでは、25セクターの内の17セクターが下落した。

ヘルスケア、ゴム、運輸、水産加工などの一部の業種が上昇した。

ハノイ取引所でHNX指数は1.92%安の113.27ポイントで取引を終えた。

同指数は1.46%高の115.49ポイントで火曜日の取引を終えていた。

出来高は7080万株で売買代金にして5120億ドンであった。

外国人投資家はホーチミン取引所では987億ドンの買い越し、ハノイでは3.8億ドンの売り越しだった。

木曜日に先物の満期を迎えることとETFがポートフォリオ見直しを金曜日に終える予定のため投資家は指数の乱高下を予想しており、不安心理が市場に蔓延していたとBIDV証券は語った。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられるFiinProという情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利はJSIに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。